

笑顔いっぱい！ 夢いっぱい！ イイねがいっぱい！ たくまばる

託麻原小学校だより

No.6

みどりの風

2nd  
シーズン

R6 (2024).10.4

文責：佐藤真司

## 「キャッチボール」のお話

10月の講話集会より

「キャッチボール」ってなんだか不思議な言葉です。

キャッチ (catch) とは「つかむ」「取る」という意味ですが、片方の人は投げていますよね。「投げる」は英語で「throw (スロウ)」ですから、ボールを投げ合うことを「スロウボール」と呼ぶのが自然な気がしませんか？

託麻原野球クラブ6年の指山さんと上田さんに、キャッチボールするときに大切なことを尋ねてみると、

①相手のボールを正面で、両手で受ける

②相手の胸あたりに、取りやすいボールを投げる

と答えてくれました。



ピッチャーがバッターにボールを投げるときには「打たれないような球を投げる」わけですが、それ以外のほとんどの場面では、ボールを投げるときに相手がとりやすいように投げるのが基本です。

でも、いつでもとりやすい球がなげられるわけではありません。そんな場合でも大事なものは、チームの仲間に、「どんな球でもとるから安心して投げていいよ！」という気持ちを伝えることではないかと思えます。だからボールを投げ合う時でも「キャッチ」がまず大事なことなんですね。ボールを投げ合う練習を「キャッチボール」と呼ぶのもこんな理由があるのかもしれない。

会話のキャッチボールという言葉もあります。この場合は、自分がしゃべる言葉が“ボール”になりますね。誰かと話をする時にはどうしても、自分が何をしゃべろうか何を話そうかと考えてしまいがちです。でもキャッチボールと同じように考えれば、本当に大事なことは、自分が何を話すのかではなく、「目の前にいる人は何を話したいと思っているのかな？何を伝えてくれようとしているのかな？」と考える、つまり相手の言葉や思いをキャッチすることが大事なのではないのでしょうか？

人間はどうしても自分の言いたいばかりを早口で言ってしまいがちです。そして、上手にしゃべれる人が褒められたりしがちです。でも、本当に素敵な人は相手がどんな話をしても上手に気持ちよく聞いてくれる人なんだと思います。

お互いを信頼し合いながら【笑顔のキャッチボール】を続けていきたいですね

### お知らせとお願い

#### ◆10/26(土)学習発表会

当日は体育館に全校児童が一堂に会しますので、保護者観覧スペースが狭くなっています。お子様の出番が済んだら、必ず次の学年に観覧席をお譲りください。ご協力よろしくお願い致します。